

名古屋市立廿軒家小学校 総合学習を支援しました



6月21日(火)に、名古屋市立廿軒家小学校で総合学習を支援しました。授業では、児童たちにとって身近な庄内川に棲む水生生物の観察や水質調査などの体験を通して河川環境の大切さを学んでもらいました。また、水害を体験したことのない世代の児童に、近年の大規模水害や東海豪雨の様子を知ってもらうことで、水防災は「事前の備え」や「自らの命は自らで守る」という意識をもった行動が重要であることを伝えました。

環境学習 ～水生生物の説明～



環境学習 ～水生生物の観察～



環境学習 ～お魚タッチプール～



環境学習 (水質調査:水道水と庄内川の水)



【参加した生徒：3年生82名】
★児童たちの感想や質問など

- ・川には予想以上に多くの生き物がいることがわかった。
- ・水質調査を勉強して、川の水はどのくらい汚いのか、水道の水はどのくらいきれいなのか分かった。
- ・水害についてよく知らなかったので、危ないところはどこか調べてみようと思った。
- ・ウナギのヌルヌルのひみつを知りたい。
- ・わざと公園などに雨や川の水を流し込むのは、どうしてかな。

防災教育～『自らの命は自ら守る』～



※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスクの着用、消毒、検温等の対策を行い、開催しました。